平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月8日

上場会社名　京成電鉄株式会社　　上場取引所　東
コード番号　9009　URL　http://www.keisei.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 三枝　紀生
問合せ先責任者 (役職名) 経理部連結・受託課長　(氏名) 田口　正樹　TEL 03-3621-2285

四半期報告書提出予定日　平成23年11月14日　配当支払開始予定日　平成23年12月2日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	112,029	△6.5	9,428	△13.6	9,076	△26.5	5,780	△21.8
23年3月期第2四半期	119,818	0.2	10,918	△11.7	12,353	6.0	7,391	6.8

(注)包括利益　24年3月期第2四半期　5,756百万円　(△19.9%)　23年3月期第2四半期　7,185百万円　(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	17.07	—
23年3月期第2四半期	21.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	711,705	183,493	25.4
23年3月期	717,123	178,923	24.6

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　180,804百万円　23年3月期　176,197百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	2.50	—	3.00	5.50
24年3月期	—	2.50			
24年3月期(予想)			—	2.50	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	231,000	△2.9	17,900	△12.3	19,600	△6.3	13,200	9.7	38.99

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	344,822,371 株	23年3月期	344,822,371 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	6,298,430 株	23年3月期	6,194,441 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	338,539,957 株	23年3月期2Q	337,548,778 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、連結業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

2. 当社は、平成23年11月17日(木)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……P2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……P2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……P3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……P3
２．四半期連結財務諸表 ……P4
（１）四半期連結貸借対照表 ……P4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……P6
四半期連結損益計算書 ……P6
四半期連結包括利益計算書 ……P7
（３）継続企業の前提に関する注記 ……P8
（４）セグメント情報等 ……P8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……P8
３．補足情報 ……P9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災及び原子力災害の影響を受けた生産活動や個人消費に一部持ち直しの動きがみられたものの、電力供給の制約や失業率が高水準にあるなど厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中で、当社グループは、全事業にわたり積極的な営業活動を展開するとともに、より一層の経費削減に取り組むなど、業績の向上に努めたほか、「ＢＭＫ（ベストマナー向上）推進運動」にも引き続き取り組み、お客様サービスの向上を図ってまいりました。

その結果、全事業営業収益は1,120億２千９百万円（前年同期比6.5％減）となり、全事業営業利益は94億２千８百万円（前年同期比13.6％減）となりました。経常利益は、持分法投資利益の減少等により90億７千６百万円（前年同期比26.5％減）となり、四半期純利益は57億８千万円(前年同期比21.8％減)となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

＜運輸業＞

鉄道事業では、安全輸送確保の取り組みとして、地震計の増設や高架橋耐震補強工事を推進したほか、デジタルＡＴＳについて、設置区間の拡大工事を行いました。また、東日本大震災により被災した一部区間における法面沈下復旧工事を行いました。

電力不足対策としては、本数を削減したダイヤによる運行を行ったほか、駅構内・列車内照明の一部消灯やエスカレーターの一部使用停止等を行いました。なお、運休していた列車については、９月１０日にほぼ運行を再開いたしました。

大規模工事については、押上線連続立体化工事において、墨田区内での工事を推進いたしました。

営業面では、成田スカイアクセス開業１周年を記念した乗車券を発売したほか、「下町日和きっぷ」を発売し、沿線への旅客誘致を図りました。

バス事業では、一般乗合バス路線において、流山市内及び葛飾区等で新規路線の運行を開始いたしました。高速バス路線においては、東京駅～新浦安地区線を増便したほか、浜松町バスターミナル内にチケットカウンターを開設いたしました。また、新橋～成田線等深夜急行バスの運行を開始いたしました。このほか、東日本大震災の復興を支援するため、緊急支援バスの運行に加え、ボランティアバスツアーを企画・開催いたしました。

しかしながら、東日本大震災及び原子力災害による出控え等の影響により、営業収益は624億２千８百万円（前年同期比5.0％減）となり、営業利益は71億７千６百万円（前年同期比17.1％減）となりました。

＜流通業＞

百貨店業では、東日本大震災の影響により、フロア限定・時間短縮営業を余儀なくされたものの、各種イベントによる販売促進策を実施し、集客を図りました。

ストア業では、全店統一のチラシ特売「リブレ市」を開始し集客を図ったほか、コンビニエンスストアが堅調に推移いたしました。

以上の結果、営業収益は360億１百万円（前年同期比2.5％減）となりましたが、経費削減により営業利益は７億４千８百万円（前年同期比59.9％増）となりました。

＜不動産業＞

不動産販売業では、「サングランデ印西牧の原ドアシティ」等の中高層住宅や、成田市公津の杜等の住宅用地を販売いたしました。

不動産賃貸業では、「アビタシオン京成千葉中央」(有料老人ホーム)の賃貸を開始したほか、今年度中の竣工に向け、台東区浅草においてビジネスホテルの建設を推進いたしました。

以上の結果、営業収益は72億１百万円（前年同期比27.1％減）となりましたが、営業利益は18億円（前年同期比11.9％増）となりました。

＜レジャー・サービス業＞

映画業では、「京成ローザ⑩」全館にて、映写機のデジタル化を実施いたしました。

ホテル業では、近隣地域へのセールスを強化し、新規顧客の獲得に努めたほか、京成ホテルミラマーレにおいてロビーラウンジの改装を実施いたしました。

しかしながら、営業収益は47億３千１百万円（前年同期比22.8％減）となり、２億４千７百万円の営業損失となりました。

＜建設業＞
建設業では、分譲マンション及びビジネスホテルの新築工事のほか、公共施設工事等を行いました。
しかしながら、営業収益は68億７千２百万円（前年同期比10.8％減）となり、営業利益は１億１千３百万円（前年同期比16.3％減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

資産合計は7,117億５百万円となり、前期末と比べ54億１千７百万円(0.8％)減少しました。これは、「現金及び預金」が31億６千５百万円増加しましたが、減価償却等により有形固定資産が66億１千４百万円減少したことによるものです。
負債合計は5,282億１千１百万円となり、前期末と比べ99億８千８百万円(1.9％)減少しました。これは、「支払手形及び買掛金」が45億４千２百万円、借入金が43億９千３百万円減少したことによるものです。
純資産合計は1,834億９千３百万円となり、前期末と比べ45億７千万円(2.6％)増加しました。これは、「利益剰余金」が四半期純利益57億８千万円の計上等により47億４千９百万円増加したことが主たる要因です。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当期の連結業績予想は、第２四半期までの業績などを踏まえ平成23年５月10日に公表しました通期業績予想を変更しております。
国内の景気動向については、生産活動や個人消費に一部持ち直しの動きがみられたものの、依然として先行き不透明であり、厳しい事業環境は今後も続くものと考えております。このため、営業収益は、不動産業、レジャー・サービス業、建設業セグメントで従来の予想を引き下げて2,310億円(前回予想比1.6％減)を見込んでおります。
しかしながら、利益面においては、減収の影響はあるものの、費用の削減を見込むことから従来の予想を引き上げ、営業利益は179億円（前回予想比9.1％増）を見込んでおります。また、持分法適用会社である株式会社オリエンタルランドの業績予想が算定されたことから、経常利益196億円、当期純利益132億円を見込んでおります。

※業績予想につきましては、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

通期の見通し

（単位：億円、単位未満切捨）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
今回発表予想	2,310	179	196	132
前回発表予想	2,348	164	―	―
増減率(％)	△1.6	9.1	―	―

セグメント別通期の見通し

（単位：億円、単位未満切捨）

	営業収益			営業利益		
	今回発表予想	前回発表予想	増減率(％)	今回発表予想	前回発表予想	増減率(％)
運輸業	1,260	1,257	0.2	127	119	6.7
流通業	732	731	0.1	12	9	33.3
不動産業	161	181	△11.0	34	31	9.7
レジャー・サービス業	107	109	△1.8	△1	△2	―
建設業	204	228	△10.5	5	5	0.0
その他の事業	49	49	0.0	2	2	0.0
計	2,513	2,555	△1.6	179	164	9.1
連結修正	△203	△207	―	△0	△0	―
連結	2,310	2,348	△1.6	179	164	9.1

２．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,714	25,879
受取手形及び売掛金	13,637	12,107
分譲土地建物	19,061	19,597
商品	2,250	2,065
仕掛品	774	1,433
原材料及び貯蔵品	1,684	1,717
繰延税金資産	2,880	2,566
その他	10,859	9,900
貸倒引当金	△59	△62
流動資産合計	73,803	75,206
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	269,664	265,732
機械装置及び運搬具（純額）	20,133	18,372
土地	139,640	139,859
リース資産（純額）	32,766	32,238
建設仮勘定	37,186	36,704
その他（純額）	1,961	1,830
有形固定資産合計	501,353	494,738
無形固定資産		
のれん	290	21
リース資産	2,494	2,365
その他	10,452	9,905
無形固定資産合計	13,238	12,293
投資その他の資産		
投資有価証券	105,956	107,164
長期貸付金	667	650
繰延税金資産	17,068	16,868
その他	5,715	5,485
貸倒引当金	△910	△908
投資その他の資産合計	128,498	129,262
固定資産合計	643,089	636,294
繰延資産	229	204
資産合計	717,123	711,705

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,203	10,661
短期借入金	89,384	66,956
1年内償還予定の社債	100	10,100
リース債務	2,572	2,708
未払法人税等	3,272	2,355
前受金	25,855	32,472
賞与引当金	2,827	2,948
役員賞与引当金	73	30
災害損失引当金	1,546	1,210
その他	24,837	22,029
流動負債合計	165,673	151,473
固定負債		
社債	91,050	81,000
長期借入金	141,529	159,563
鉄道・運輸機構長期未払金	71,351	68,963
リース債務	21,460	20,850
繰延税金負債	2,114	2,076
退職給付引当金	32,077	31,963
役員退職慰労引当金	578	499
負ののれん	1,289	1,059
その他	11,075	10,760
固定負債合計	372,526	376,738
負債合計	538,199	528,211
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,803	36,803
資本剰余金	28,485	28,485
利益剰余金	112,920	117,670
自己株式	△1,969	△2,028
株主資本合計	176,240	180,931
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	126	87
繰延ヘッジ損益	△169	△213
その他の包括利益累計額合計	△42	△126
少数株主持分	2,726	2,689
純資産合計	178,923	183,493
負債純資産合計	717,123	711,705

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
営業収益	119,818	112,029
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	90,507	84,966
販売費及び一般管理費	18,391	17,633
営業費合計	108,899	102,600
営業利益	10,918	9,428
営業外収益		
受取利息	158	152
受取配当金	208	200
持分法による投資利益	3,896	2,137
雑収入	1,473	926
営業外収益合計	5,737	3,416
営業外費用		
支払利息	3,714	3,384
雑支出	588	384
営業外費用合計	4,302	3,768
経常利益	12,353	9,076
特別利益		
工事負担金等受入額	22,170	867
その他	206	98
特別利益合計	22,376	965
特別損失		
固定資産圧縮損	22,085	787
投資有価証券評価損	675	96
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	486	－
災害による損失	－	120
その他	111	122
特別損失合計	23,359	1,126
税金等調整前四半期純利益	11,370	8,916
法人税、住民税及び事業税	3,652	2,652
法人税等調整額	63	422
法人税等合計	3,715	3,075
少数株主損益調整前四半期純利益	7,654	5,840
少数株主利益	263	60
四半期純利益	7,391	5,780

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	7,654	5,840
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△330	22
持分法適用会社に対する持分相当額	△139	△106
その他の包括利益合計	△469	△83
四半期包括利益	7,185	5,756
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,949	5,696
少数株主に係る四半期包括利益	235	60

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

（セグメント情報）

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間(自　平成22年４月１日　至　平成22年９月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	建設業	その他の事業		(注)１	(注)２
営業収益									
(1) 外部顧客に対する営業収益	65,282	36,498	7,277	4,560	4,864	1,334	119,818	―	119,818
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	420	427	2,603	1,571	2,836	818	8,678	△8,678	―
計	65,703	36,926	9,880	6,131	7,701	2,153	128,496	△8,678	119,818
セグメント利益又は損失(△)	8,652	468	1,608	19	135	△9	10,875	43	10,918

(注)１　セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去及びのれん償却額であります。
２　セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	建設業	その他の事業		(注)１	(注)２
営業収益									
(1) 外部顧客に対する営業収益	61,972	35,777	4,594	3,927	4,388	1,368	112,029	―	112,029
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	455	224	2,606	803	2,483	652	7,227	△7,227	―
計	62,428	36,001	7,201	4,731	6,872	2,021	119,256	△7,227	112,029
セグメント利益又は損失(△)	7,176	748	1,800	△247	113	53	9,644	△215	9,428

(注)１　セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去及びのれん償却額であります。
２　セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

３．補足情報

(1)四半期連結損益計算書(前年同期比較)

（単位：百万円）

科　　目	第２四半期累計	前年同期	増減額	増減率(%)
営　業　収　益	112,029	119,818	△7,788	△6.5
営　　業　　費				
運輸業等営業費及び売上原価	84,966	90,507	△5,540	△6.1
販売費及び一般管理費	17,633	18,391	△757	△4.1
営　業　利　益	9,428	10,918	△1,490	△13.6
営　業　外　収　益	3,416	5,737	△2,321	△40.5
受取利息	152	158	△6	△4.0
受取配当金	200	208	△8	△3.8
持分法による投資利益	2,137	3,896	△1,759	△45.1
その他	926	1,473	△547	△37.2
営　業　外　費　用	3,768	4,302	△534	△12.4
支払利息	3,384	3,714	△330	△8.9
その他	384	588	△204	△34.7
営　業　外　損　益	△351	1,434	△1,786	―
経　常　利　益	9,076	12,353	△3,277	△26.5
特　別　利　益	965	22,376	△21,411	△95.7
特　別　損　失	1,126	23,359	△22,233	△95.2
特　別　損　益	△160	△983	822	―
税金等調整前四半期純利益	8,916	11,370	△2,454	△21.6
法人税、住民税及び事業税	2,652	3,652	△1,000	△27.4
法人税等調整額	422	63	359	568.0
法人税等合計	3,075	3,715	△640	△17.2
少数株主損益調整前四半期純利益	5,840	7,654	△1,814	△23.7
少数株主利益	60	263	△202	△77.0
四半期純利益	5,780	7,391	△1,611	△21.8

（注）　　（第２四半期）　　（前年同期）

1. 特別利益の主な内訳

工事負担金等受入額	867百万円	22,170百万円

2. 特別損失の主な内訳

固定資産圧縮損	787百万円	22,085百万円
災害による損失	120百万円	―百万円

(2)セグメント別当四半期の概況（前年同期比較）

（単位：百万円）

	営業収益			営業利益又は営業損失(△)		
	第２四半期累計	対前年同期増減額	増減率(%)	第２四半期累計	対前年同期増減額	増減率(%)
運輸業	62,428	△3,275	△5.0	7,176	△1,476	△17.1
流通業	36,001	△924	△2.5	748	280	59.9
不動産業	7,201	△2,679	△27.1	1,800	191	11.9
レジャー・サービス業	4,731	△1,400	△22.8	△247	△267	―
建設業	6,872	△828	△10.8	113	△22	△16.3
その他の事業	2,021	△131	△6.1	53	62	―
計	119,256	△9,240	△7.2	9,644	△1,231	△11.3
連結修正	△ 7,227	1,451	―	△215	△258	―
連結	112,029	△7,788	△6.5	9,428	△1,490	△13.6

(3)通期連結業績予想(前期比較)

①通期の見通し

(単位：億円、単位未満切捨)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
今回発表予想	2,310	179	196	132
前　　期	2,378	204	209	120
増減率(%)	△2.9	△12.3	△6.3	9.7

②セグメント別通期の見通し

(単位：億円、単位未満切捨)

	営業収益			営業利益		
	今回発表予想	前　期	増減率(%)	今回発表予想	前　期	増減率(%)
運輸業	1,260	1,291	△2.5	127	150	△15.6
流通業	732	739	△1.0	12	8	37.8
不動産業	161	197	△18.6	34	33	1.9
レジャー・サービス業	107	116	△8.0	△1	△0	―
建設業	204	212	△4.1	5	9	△49.2
その他の事業	49	49	△1.8	2	1	59.6
計	2,513	2,607	△3.6	179	203	△12.0
連結修正	△203	△228	―	△0	0	―
連結	2,310	2,378	△2.9	179	204	△12.3

(4)鉄道事業　輸送人員及び旅客運輸収入内訳表(単体)

区　　分	当第２四半期累計期間 (自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日)	前第２四半期累計期間 (自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日)	増減率
輸　送　人　員	千人	千人	%
定　　期	77,162	78,155	△1.3
定　期　外	51,355	54,079	△5.0
計	128,517	132,234	△2.8
旅 客 運 輸 収 入	百万円	百万円	%
定　　期	9,799	9,509	3.1
定　期　外	15,843	16,623	△4.7
計	25,643	26,132	△1.9

(注)　輸送人員：千人未満を四捨五入して表示しております。

旅客運輸収入：百万円未満を切り捨てて表示しております。